

都筑中央公園はグリーンマトリックスシステムの中核となる区内最大の緑

都筑中央公園自然体験施設



都筑中央公園 特定非営利活動法人 都筑里山倶楽部

# 里山便り

令和6年6月1日 第261号

発行：特定非営利活動法人 都筑里山倶楽部 理事長 岩嶋 伸幸  
〒224-0032 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 57-8 Tel & Fax 045-941-0987

ローザ・つづき

## 横浜フラワー&ガーデンフェスティバル2024

3 Fri ~ 6 Mon

2027年に横浜で開催される GREEN x EXPO「2027年国際園芸博覧会」の機運醸成を目標として今年初めてパシフィコ横浜で開催されました。

5/3（金）～5/6（月）のゴールデンウィークの開催で35,094名の来園者がありました。都筑里山倶楽部としては、公園紹介、部会活動紹介と共に里山のめぐみ「竹細工」「竹炭製品」の販売も行い大変多くの来場者の方にお買い上げ頂きました。準備をはじめ当日の説明等に参加頂きました方々に御礼申し上げます。



会場には他の自然公園の作品も展示、販売されておりそれぞれの公園の特徴が良く表れていました。参考になるアイデアも沢山あり、興味深い4日間でした。

ブースなどでは新作のバラの花やガーデニングコンテストなど様々な展示や催し物があり来園者を楽しませていました。また、次年度開催されるようでしたら是非訪れてみることをお勧めします。

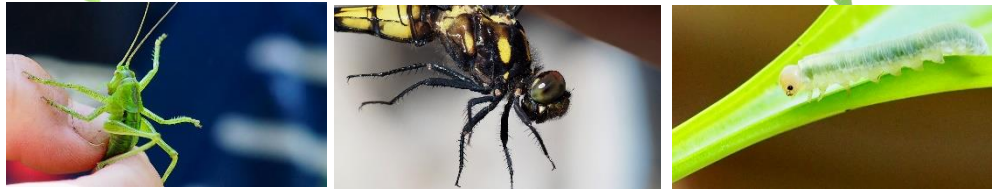


HERE

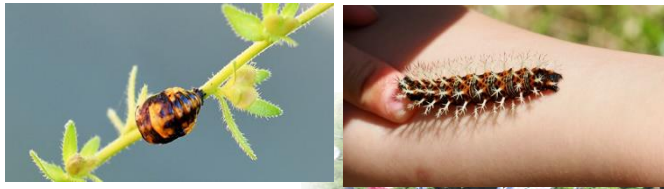




## ゴールデンウィークの昆虫観察会 5. Sun



炎天下の観察会でしたが、無事に開催出来ました。この季節は蛹越冬したアゲハ類が羽化します。個体数は少なかったですが、ナミアゲハ、クロアゲハ、ナガサキアゲハ、ジャコウアゲハ、アオスジアゲハを観察しました。



又、特定外来種であるアカボシゴマダラも幼虫越冬後に蛹になり、この季節に羽化します。数匹の個体が木々の周りを飛んでいました。バッタ類の若虫は未だ小さく、秋が待たれます。



## 初夏の野鳥観察会 12. Sat

大池にはカイツブリが営巣して、親鳥が採餌で頻繁に池に潜っていました。コゲラが木の幹に止まり、アオゲラやウグイスの鳴き声を聴くことが出来ました。特定外来種のガビチョウの鳴き声も聞こえました。早淵川では、アオサギがゆっくりと飛び、カワセミが美しい羽を輝かせていました。



シジュウカラ



アオサギ



## 大池の生き物観察会 26. Sun



暑くなく、大池の生き物観察会には絶好の日和でした。しかしながら、温度が低いのか、池の生き物の活性が総じて低く、採取される数は少なかったです。又、営巣中のカイツブリを驚かせないように、活動範囲を限定しました。特定外来種のアメリカザリガニの採取数が少なく、期待していた子供達にとっては残念でしたが、少ないことを理解頂ける親御さんも居られました。

一方、大型の外来種ドジョウが昨年同様に採取され、定着が疑われました。大池の生態系も変化が見えて来そうです。オオヤマトンボも姿を見せ、いよいよ夏が到来します。

調査観察部会 N.K



コミズムシ

モツゴ

スジエビ